

由宇小だより

平成15年 7月18日 第5号

「家の素敵な夏休み」

校長 浦田 敏明

4月からの約4ヶ月間で、由宇小学校の子どもたちは学習・生活両面でたくましく成長しました。

また、おかげさまで大きな事故もなく1学期を終了することができ、うれしく思います。

これもひとえに皆様方の本校教育に対するご理解・ご協力の賜であると心より感謝申し上げます。

お日様まだかな とつばやいたのは
プールサイドに立つ
ひまわりの子ども

入道雲をしたがえて
青い夏がくすっと笑う

さあ、夏休みです



わくわくドキドキする夏休みが、今年もやってきました。

夏休みは、子どもの心と体を著しく成長させます。日頃よりも子どもたちと接する時間が増えるこの機会に、手伝いの遅さや手際の悪さを叱らず、我が子のわずかな成長や小さな発見とともに喜ぶ親でありたいと思います。

さて、私はこの夏に10冊読書を自分に課したいと思います。仕事の合間を縫っての読書は実は厳しいのですが、半世紀生きてこれた区切りに充電をしようと考えたのです。できれば家族と一緒に読書をしようと思います。



長期の休みという特別な日常の中で、子どもが思い出を貴重なものとして記憶するためには、親子で計画した「2003年夏・我が家のめあて」をもって夏休みに臨むことが大切です。

しかし、それは決してどこかに旅行に行くとか、思い出作りのためのよくある行動を指すものではありません。道ばたの草花の可憐さに気づいたり、けんかの後ですぐにごめんねと言えるようになっていたりという日常の中の「特別」に気づきそれを愛おしく思うこと。

こうした一夏の「歩み」や「成長」を記録に留める思い出作りなどが選択肢の中にあってもよいのではないのでしょうか。

わたしたち大人が一人の人間としての「生き方」を示してやるよいチャンスでもあります。各ご家庭で工

夫されることを期待します。

こうして「家の素敵な夏休み」を家族で紡ぐことができれば、そこには自ずとお子様の個性あふれる「素敵な夏休み」が成立しているはずです。

一年の内で最も長いこの休暇が、お子様一人一人にとってかけがえのないものになることを心より願っています。

楽しく有意義な夏休みに

学校では、子どもたちにとっても、家族にとっても、楽しく有意義な「夏休み」になるようにと願っています。下記のことについて、お子さんと十分に話し合われ、家庭・地域で子どもたちの生活をしっかりと見守り、注意を促していただけたらと思います。

1 規則正しい有意義な生活を送るために

めあてをもって生活する。

- ・夏休みの間の見通し、無理のない計画を立て、実行できたことを認め、ほめましょう。

生活のリズムを保つ。

- ・早寝・早起き、いつもと同じ生活をし、時間の使い方を、自分で考え、実行する力を伸ばしましょう。

- ・親子のコミュニケーションをとるために、挨拶や会話をしっかりしましょう。

～ 夜型から朝型へ ～

夏休みだからといって、夜遅くまで起きていたり、朝遅くまで寝ていたりということがないように、しっかりと生活のリズムを保ちましょう。

こんなことはありませんか？

朝なかなか起きられなかったり、朝食を食べられなかったりすることはありますか？

現代人の体内時計は夜型になってしまい、自然に

備わった生体リズムが狂って体調を崩すことがあるといわれています。

よく眠り、よく食べ、よく遊ぶために、5つのことを実行してみましょう。

朝、自分で起きられるように（カーテンを開けておくと、目覚めがよいようです。）

朝ご飯をよく噛んで、しっかり食べましょう。

よく噛むことが脳の働きを活発にします。

毎朝のウチの習慣づけをしましょう。

昼間は、太陽の下で、適度な運動をしましょう。

1日1度は、家族で団らんの時間をつくりましょう。小学生の時期には、「ふれあい」が、とても大切です。

いろいろな体験を積む。

- ・子ども会や地域の行事等に積極的に参加し社会性を伸ばしましょう。

子どもたちが、有意義な生活を送るためには、大人の適切な言葉がけと見守る姿勢が大切です。

2 安全な生活を送るために

交通安全に気をつける。

- ・自分の身を守る能力と技術を伸ばしましょう。
- ・交通マナーを守りましょう。
- ・道路を横断するときの「止まる」「確かめる」「手をあげる」ことの習慣化を図りましょう。
- ・自転車に乗るときのきまりを守らせましょう。
- ・自転車に乗るときは、「ヘルメット」を着用しましょう。
- ・自転車に乗るときの約束があまり守られていません。事故は、命にかかわってきます。「きまり」や「約束」を守るように声かけをしてください。

（飛び出し、多重走行、スピードの出し過ぎ、一旦停止、左右の確認等）

水の事故、花火の事故を防止する。

- ・水泳や川遊び、魚釣り、花火等は、保護者同伴でしましょう。
 - ・子どもたちが、日頃遊ぶ場所で、危険な箇所（溝、河川、ため池、崖等）がないか話し合い・確かめ・近づかない等の約束をしっかりとしましょう。
 - ・大雨の時、その後は、増水や川底が変化しています。深みや急な流れがあり、子どもたちだけで川遊びがないよう、声かけをしっかりとしましょう。
- 日頃、危なくない所でも、大雨で危なくなります。**
- ・花火や釣りの片づけ等は、子どもに責任をもたせてさせましょう。



安全、生命にかかわることは、毅然とした態度で子どもたちに教える姿勢が大切です。

3 子どもの健全な育成を図るために

問題行動を未然に防ぐ。

- ・一人一人の子どもの気持ちを十分に受け止め、しっかりと「ふれあう」ことを大切にしましょう。
- 非行につながる行動にブレーキをかける。
- ・子どもたちだけでのゲームセンター等への出入

りや金銭の貸し借りは、結果として好ましくない問題に発展しがちです。

- ・子どもの遊び場や遊び方に留意し、適切な声かけ等をしましょう。
- 被害を避ける。
- ・校区外外出や夜間外出等は、保護者同伴でしましょう。
 - ・寂しい場所で、一人で遊ぶといったことがないように、声かけをしましょう。
 - ・被害にあったり、あいさうになった場合は、すぐに、お家の人や大人の人、学校、警察に届け出ましょう。また、不審な人物の情報もすぐに知らせましょう。（知らない人の誘いにのったりすることのないようにしましょう。）
 - ・遊びに行くときは、行き先や帰宅時刻を親子で確かめ合えるようにしましょう。

「夏休み中の生活」についてのプリントや、学年だよりは、学級で配ってもらっていると思います。楽しい夏休みになりますよう、お子様とご一緒に、一読され、計画を立ててみられてはいかがでしょうか。休み中、気になることや事故、問題行動等がありましたら、すぐに学校に知らせてください。また、よいことも知らせてください。学校・家庭・地域の連携のもとで、子どもたちの生活を見守っていきましょう。

お知らせとお願い

夏休みに学校・PTA で、プール監視と親子ふれあい奉仕作業を計画しております。いろいろとご計画がありがたいですが、ご参加の程、よろしく願いいたします。（詳しい内容につきましては、先日配布いたしましたプリントをご覧ください。）